

静岡県が育成した注目されている茶の品種

[研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち90%以上が‘やぶきた’で占められています。
- ・個性ある茶産地形成のために、香気、滋味に特徴があり市場性が高い品種を育成する必要があります。

[研究の成果]

『つゆひかり』 ‘やぶきた’ に代わるニューフェイス

来歴 ♀静 7132 × ♀あさつゆ
登録年 2003年
早晚性 ‘やぶきた’ より2日程度早い
収量性 多
耐病性 炭疽病：強 耐寒性 赤枯れ：強
品質特性 エメラルドグリーンの水色に加えて、芳醇な香気をもちます。また、滋味はコクと旨味があります。



『香駿』 香りを楽しむならこの品種

来歴 ♀静 くらさわ × ♀かなやみどり
登録年 2000年
早晚性 ‘やぶきた’ と同じか、1日遅い
収量性 多
耐病性 炭疽病：やや弱 耐寒性 赤枯れ：中
品質特性 独特の清涼感のある香気を持ち、滋味は旨味と渋味のバランスがとれています。



『山の息吹』 栽培しやすく旨味に富んだ早生品種

来歴 ‘やぶきた’ 自然交雑実生
登録年 1997年
早晚性 ‘やぶきた’ より4~5日程度早い
収量性 中
耐病性 炭疽病：中 耐寒性 赤枯れ：やや強
品質特性 甘く軽やかな香気を持ち、滋味は渋味が少なく、濃厚な旨味をもちます。

